

12

景観計画重点区域5

穴部国府津線沿道地区の色彩

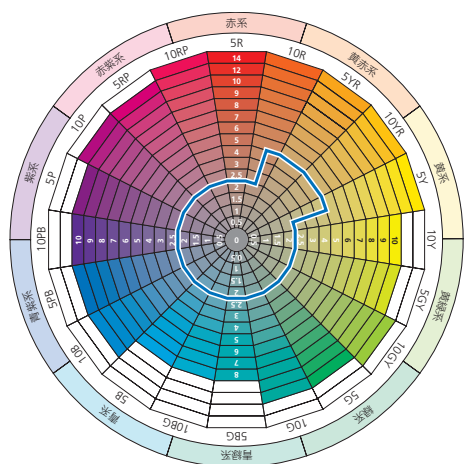
建築物の屋根・外壁、工作物等の色彩

制限の考え方

周辺の住宅地の落ち着いた住環境や沿道型の複合市街地に配慮した良好な通り景観を形成するために、建築物や工作物は暖色系の低彩度色を基本とした沿道景観の形成を図ります。

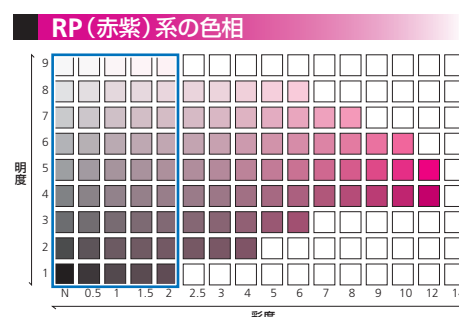
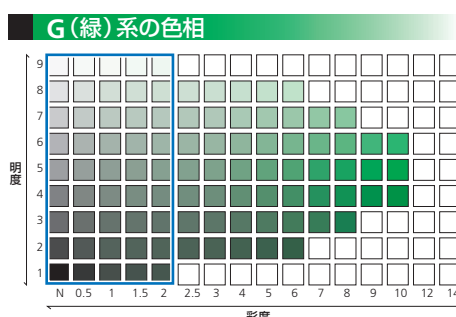
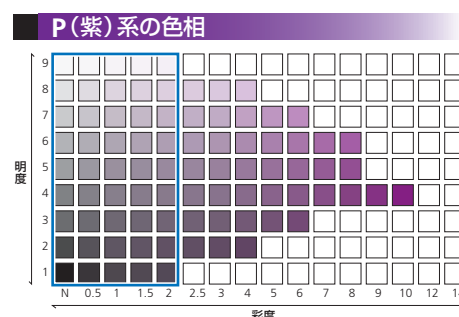
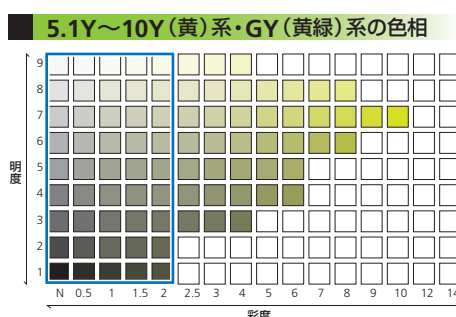
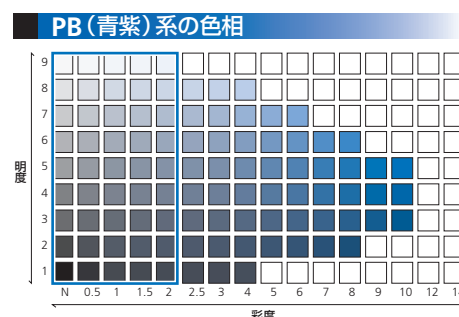
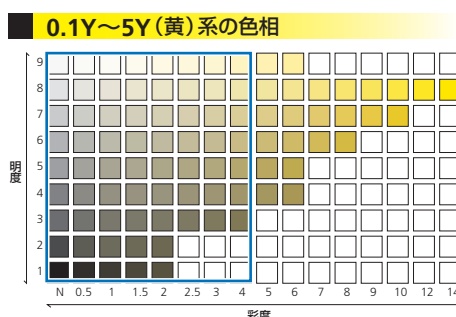
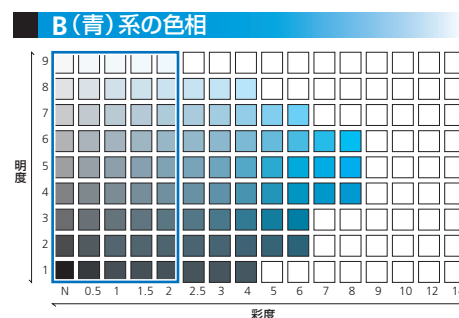
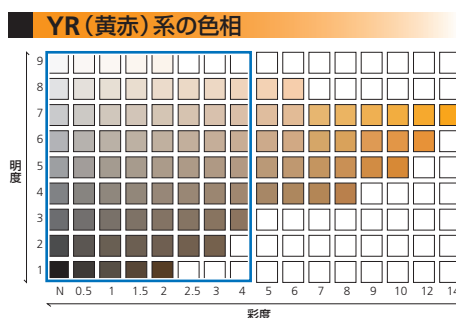
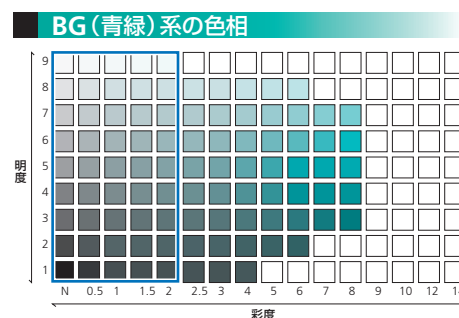
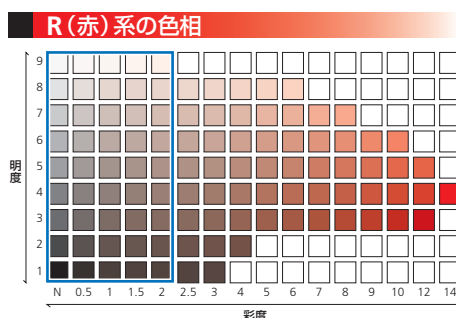
また、隣り合う建築物や工作物などと色相や明度、彩度をそろえるなど、まちなみとしての連続性や一体感が感じられる景観形成を図ります。

※¹ 建築物・工作物の見付面積の1/5未満の範囲内で用いる色彩については制限がありません。ただし、地盤面からの高さ10m以下の部分に限ります。



対象部位	色相	明度	彩度
外観	0.1YR～5Y	制限なし	4以下とする
	その他	制限なし	2以下とする
自動販売機 ^{※2}	5Y	7.5	1.5

※² ただし、木製の囲いなどにより周囲と調和するように修景を行った場合はこの限りではありません。



凡例 建築物・工作物の外観の基調色の使用可能範囲

制限範囲内の色彩例—外壁 (記号はマンセル値、[] 内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)					
N9.0 [N-90]	5YR8.5/0.5 [15-85A]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y9.0/1.0 [22-90B]	5Y8.0/0.5 [25-80A]
N8.0 [N-80]	5YR6.0/3.0 [15-60F]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR6.0/2.0 [19-60D]	2.5Y8.0/2.0 [22-75D]	5GY7.0/2.0 [35-70D]
N7.0 [N-70]	7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR8.0/1.5 [19-80C]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5BG7.0/2.0 [55-70D]
N6.0 [N-60]	7.5YR7.0/4.0 [17-70H]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5PB7.0/2.0 [75-70D]



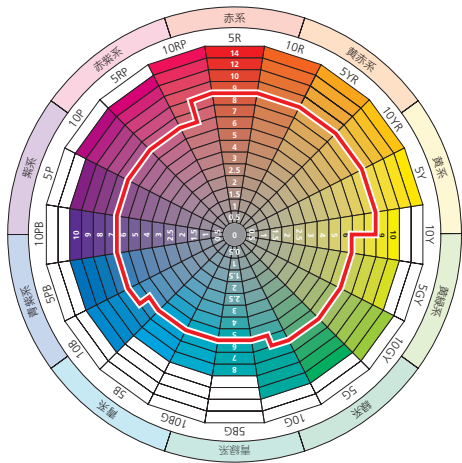
制限範囲内の色彩例—屋根 (記号はマンセル値、[] 内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)					
N4.0 [N-40]	10R3.0/2.0 [09-30D]	5YR4.0/2.0 [15-40D]	10YR4.0/1.0 [19-40B]	2.5Y4.0/1.0 [22-40B]	5GY3.0/2.0 [35-30D]
N2.0 [N-20]	10R2.0/1.0 [09-20B]	5YR2.0/1.0 [15-20B]	10YR3.0/1.0 [19-30B]	5Y3.0/1.0 [25-30B]	5BG3.0/1.0 [55-30B]

屋外広告物・日よけテントの色彩

制限・誘導の考え方

富士山・箱根外輪山、丹沢山地、曽我丘陵への良好な眺望を活かし、まちなみとして連続性が感じられる通り景観を形成するため、屋外広告物の地色^{*1}は、高彩度色を用いないよう誘導を図ります。

^{*1} 文字以外の部分をさします。面積全体の 1/3 以内の範囲内で用いる色彩には制限がありません。



対象部位	色相	明度	彩度
屋外広告物の地色 日よけテント	0.1R～10Y	制限なし	8以下とする
	0.1GY～10G、 0.1PB～10RP	制限なし	6以下とする
	0.1BG～10B	制限なし	5以下とする

※カラーの写真や絵画等の部分は、色彩基準に適合しない部分とみなします。

※和風の意匠によるのれん、日よけ幕については、1色に限り上記範囲外の色彩を用いることができます。

屋外広告物の色彩デザイン提案…まちなみの連続性が感じられる広告景観をめざして

穴部国府津

✕ 原案

地色に高彩度色を用いており、富士山や箱根外輪山などへの眺望景観の中で、突出した存在となっています。

屋外広告物も、周囲の景観との調和に配慮し、まちなみとしての連続性や一体感が感じられるようにデザインしましょう。

穴部国府津

◎ 反転表現

配色を反転するとともにイメージを保ちながらも、周囲との対比を和らげることができます。

穴部国府津

◎ 額縁表現

広告物の四方に額縁のように白い枠を設けると高彩度色の面積を減らすことができます。

穴部国府津

◎ 中彩度色を活かした表現

派手な高彩度色でなく、同色相の中彩度色を地色にすると深みのある落ち着いた印象になります。

穴部国府津

◎ 素材や質感を活かした表現

色による表面的な装飾でなく、金属やガラスなどの質感を活かすと高級感のある表現になります。

シミュレーション…避けたい景観イメージ (左) と改善例 (建築物や広告物は落ち着いた住宅地やすっきりとした沿道にふさわしい色彩や規模、表現を基調とする。)

